

**Q** 宮地 葉子議員

300万円減額の内容は。

**A** 大西 町長

設立当初、経営収支を組む中で収穫量の目標値を反収13・5tとしていたが、指導員ならびに従事者の努力もあり、大きく上回る20tの結果になり、多額の内部留保が発生した。

よって、本年度は資金調達が必要がなくなつたと判断し、全額減額補正をするもの。

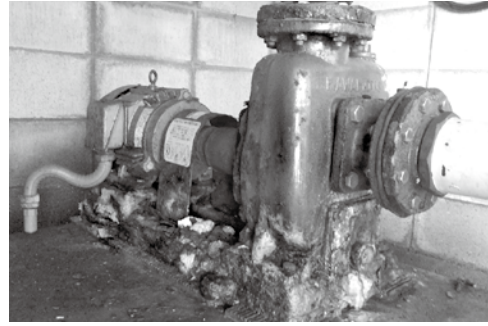


大西 町長

■レンタルハウスの木質バイオマスボイラーの整備事業補助金 437万円

■佐賀町民館の雨漏り対応の屋根改修工事費 327万円

■種子島周辺対策事業補助金  
海水滅菌装置の自給式ポンプの整備 192万円



経年劣化したポンプ

**Q** 明神 照男議員

これはどういうものか。

**A** 浜田 海洋森林課長

佐賀漁港の海水滅菌装置の海水くみ上げ用ポンプは、平成2年の購入で、24年の経年劣化により今回更新するもの。



浜田 海洋森林課長

**繰越明許費**

■南海地震対策事業

佐賀地区避難タワー整備工事を主なものとして

6億4700万円

**Q** 宮地 葉子議員

佐賀の避難タワーは5億円と聞いたと思うが、その他のものが含まれているのか。

**A** 松本 情報防災課長

タワー関係は合計5億5180万円。

その他の事業は、平成26年度に完成できない避難道の分で9500万円ほど。平成27年1月から3月の間に入札して、事業を次年度へ繰越す。



津波避難タワー建設予定の佐賀地区

平成26年度黒潮町一般会計補正予算(5号)

50万円を追加し、歳入歳出総額を111億6842万円とするもの。

この補正内容は、ハウス内の温度、湿度、炭酸ガスの濃度等の適正な環境をつくるために炭酸ガス発生器などを導入し、キュウリ、ピーマン、ニラなど、地域主要品目の作物の増収を図るための高知県の環境制御技術導入加速化事業費補助金に上乘せをする形で50万を追加補正するもの。歳入は、過疎対策事業の過疎対策事業債を借り入れて充当する。 **可決(全員)**



炭酸ガス発生器の一例